



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 日本パーカライジング株式会社  
コード番号 4095 URL <http://www.parker.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 里見 多一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 田村 裕保

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 03-3278-4333

平成28年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	50,498	△2.6	7,485	2.6	7,734	△9.4	4,751	△6.3
28年3月期第2四半期	51,852	8.1	7,297	△1.1	8,532	1.4	5,073	3.7

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △1,143百万円 (△132.0%) 28年3月期第2四半期 3,574百万円 (△38.0%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29年3月期第2四半期	38.32	—	—	—
28年3月期第2四半期	40.92	—	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
29年3月期第2四半期	184,466	—	135,991	—	62.4	928.99	—	
28年3月期	189,377	—	137,890	—	61.5	939.41	—	

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 115,190百万円 28年3月期 116,483百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
28年3月期	—	7.50	—	9.00	16.50
29年3月期	—	10.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	106,000	△2.8	15,500	△1.7	17,500	△2.4	10,200	△1.2	82.26	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	132,604,524 株	28年3月期	132,604,524 株
29年3月期2Q	8,608,135 株	28年3月期	8,608,000 株
29年3月期2Q	123,996,483 株	28年3月期2Q	123,997,023 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続はしていません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
（継続企業の前提に関する注記）	12
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	12
（セグメント情報等）	12
4. 補足情報	14
(1) 四半期毎の業績の推移（連結）	14
(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報	15
(3) 四半期毎の業績の推移（提出会社個別）	16

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)における世界経済は、米国経済は比較的堅調に推移している一方、欧州経済はEU離脱ショック後緩やかな回復傾向にあるものの勢いは鈍く、アジア経済は景気減速が続いております。また、国内経済においても、円高による企業業績の伸び悩みから株式市場は低迷し、個人消費は力強さを欠くなど、先行き不透明感を強めながら推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境は、主要な供給先であります自動車業界では、米国や中国での自動車生産は堅調に推移しましたが、国内では足踏み状態で推移しております。もう一つの柱である鉄鋼業界も、中国から世界に波及した供給過剰による鋼材価格の低迷が続き、国内外で再編の動きが見られるなど厳しい状況で推移しております。

このような状況において当社グループでは、ユーザーニーズであります環境対応製品及び高付加価値製品の展開を強化するとともに、海外需要を着実に捉えるため、米国、メキシコ、中国、タイなどを中心に生産設備の増強を図ってまいりました。さらには将来の市場優位性を確保するべく、新規市場に向けた表面処理剤の開発や基礎研究の強化など、研究開発活動にも注力しております。

当社グループの第2四半期累計期間の連結業績は、**売上高 50,498** 百万円と前第2四半期累計期間(以下、前期)に比べ△1,353 百万円(△2.6%)の減収となりました。国内外において薬品事業、加工事業ともに堅調に推移いたしました。検収時期が期末に偏りがある装置事業の減収により減収となりました。また、為替の影響により海外売上高が前期に比べ△12.0%程度縮小しており、大きな減収要因となっております。事業の種類別セグメント毎の売上高は、前期に比べ薬品事業が△2.8%、装置事業が△17.5%の減収となる一方で、加工事業が2.7%、その他が25.5%の増収で推移しております。また、地域別セグメントは、国内が1.2%の増収、アジアが△11.0%の減収、欧米が3.3%の増収で推移しております。(セグメントの増減率は外部顧客売上高を基礎にしております。)

**営業利益**は7,485 百万円と前期に比べ188 百万円(2.6%)の増益となりました。薬品事業の収益回復と加工事業の拡大により、売上総利益は19,478 百万円と193 百万円(1.0%)の増益となり、一方、**販売費及び一般管理費**が11,993 百万円と5 百万円(0.0%)増加いたしました。この内訳は人件費が△0.7%の減少、経費が1.1%増加いたしました。この結果、売上高は過去最高であった前期に及ばないものの、営業利益は過去最高の水準で推移しております。

**経常利益**は7,734 百万円と前期に比べ△797 百万円(△9.4%)の減益となりました。**営業外の収支**は為替差損が1,071 百万円計上されたことなどにより248 百万円の収入となり、前期に比べ△986 百万円減少いたしました。この結果、当第2四半期累計期間の**総資産経常利益率**(ROA)は4.1%(年換算8.2%)と前期に比べ0.4ポイント減少いたしました。

**親会社株主に帰属する四半期純利益**は4,751 百万円と前期に比べ△321 百万円(△6.3%)の減益となりました。この結果、当第2四半期累計期間の**自己資本利益率**(ROE)は4.1%(年換算8.2%)と前期に比べ0.3ポイント減少いたしました。

## 【連結決算の概況】

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
<b>当第2四半期累計期間(平成29年3月期)</b>	50,498	7,485	7,734	4,751
前第2四半期累計期間(平成28年3月期)	51,852	7,297	8,532	5,073
増減金額	△1,353	188	△797	△321
増減率	△2.6%	2.6%	△9.4%	△6.3%

## 【為替の影響額】

当期の為替換算レートは、すべての通貨で円高にシフトしております。海外業績の換算による損益計算書に与える影響額は、売上高で△2,557 百万円程度の減収、営業利益で△342 百万円程度の減益となっております。

## 【事業の種類別セグメントの概況】

(単位：百万円)

報告セグメント	外部顧客に対する売上高				セグメント利益（営業利益）			
	前第2四 半期累計	当第2四 半期累計	増減額	増減率	前第2四 半期累計	当第2四 半期累計	増減額	増減率
薬品事業	21,887	21,275	△612	△2.8%	4,175	4,443	268	6.4%
装置事業	9,492	7,828	△1,664	△17.5%	275	260	△14	△5.4%
加工事業	18,889	19,407	518	2.7%	3,313	3,279	△33	△1.0%
その他	1,582	1,986	404	25.5%	126	136	9	7.8%
調整額（消去）	—	—	—	—	△592	△634	△41	—
連結損益計算書計上額	51,852	50,498	△1,353	△2.6%	7,297	7,485	188	2.6%

## ① 薬品事業

外部顧客に対する売上高は21,275百万円と前期に比べ△612百万円（△2.8%）の減収となり、営業利益は4,443百万円と268百万円（6.4%）の増益となりました。当事業部門は、金属などの表面に耐食性、耐摩耗性、潤滑性など機能性向上を目的とする化成皮膜を施し、素材の付加価値を高める薬剤などを中心に製造・販売しております。国内においては、新規市場への薬品販売の強化による収益率の改善もあり、増収増益で推移いたしました。海外においては、売上高は現地通貨ベースでは前期並みに推移しているものの、為替の影響もあり減収となりましたが、収益面では原価低減などにより減益幅は比較的抑えられました。

## ② 装置事業

外部顧客に対する売上高は7,828百万円と前期に比べ△1,664百万円（△17.5%）の減収となり、営業利益は260百万円と△14百万円（△5.4%）の減益となりました。当事業部門は、輸送機器業界を中心に前処理設備及び塗装設備や粉体塗装設備などを製造・販売しております。当事業の業績は物件毎の検収時期の影響を受けるため、短期の業績比較は難しい事業であります。インドで増収となる一方、中国、インドネシア、国内では減収で推移いたしました。

## ③ 加工事業

外部顧客に対する売上高は19,407百万円と前期に比べ518百万円（2.7%）の増収となり、営業利益は3,279百万円と△33百万円（△1.0%）の減益となりました。当事業部門は、熱処理加工、防錆加工、めっき処理などの表面処理の加工サービスを提供しております。国内では自動車部品の海外シフトの影響は継続しておりますが、需要に回復傾向がみられ増収で推移いたしました。海外では為替の影響で海外業績は縮小されておりますが、中国、タイ、米国の需要が拡大しております。

## ④ その他

外部顧客に対する売上高は1,986百万円と前期に比べ404百万円（25.5%）の増収となり、営業利益は136百万円と9百万円（7.8%）の増益となりました。当事業部門は、ビルメンテナンス事業、運送事業、太陽光発電事業などを営んでおります。主にビルメンテナンス事業が堅調で増収増益で推移いたしました。

## 【投資情報】

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間
減価償却費（有形固定資産）	2,152	2,333
設備投資額（有形固定資産）	4,671	4,799
研究開発費	1,060	1,105
有利子負債	2,426	3,092

## (2) 財政状態に関する説明

**資産合計**は、前連結会計年度末と比較し△4,910百万円減少し184,466百万円となりました。主な増減といたしましては、流動資産では現金及び預金が△1,058百万円、受取手形及び売掛金が△1,214百万円それぞれ減少した一方で、未成工事支出金などによりたな卸資産が1,059百万円増加いたしました。固定資産では有形固定資産が△1,956百万円、投資その他の資産が△852百万円それぞれ減少いたしました。

**負債合計**は、前連結会計年度末と比較し△3,011百万円減少し48,475百万円となりました。主な増減といたしましては、流動負債では未払法人税等が△633百万円、未払金などにより流動負債その他が△1,485百万円それぞれ減少いたしました。固定負債では長期借入金が△614百万円減少いたしました。

非支配株主持分を含めた**純資産合計**は、前連結会計年度末と比較し△1,899百万円減少し135,991百万円となりました。主な増減といたしましては、利益剰余金が3,616百万円増加した一方、為替換算調整勘定の減少などにより、その他の包括利益累計額が△4,933百万円減少いたしました。

以上の結果、自己資本比率は62.4%と前連結会計年度末と比較し0.9ポイント増加するとともに、1株当たり純資産は928円99銭と△10円42銭減少いたしました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

## (通期の見通し)

今後につきましては、国内経済は緩やかな回復傾向で推移しておりますが、円高による企業収益の伸び悩みなどにより現時点では厳しさが増していると思われまます。また、海外経済は、米国経済は底堅いものの、英国のEU離脱問題や中国をはじめとしたアジア経済の景気下振れ懸念は継続しております。為替による海外業績縮小の影響は拡大し、先行きは不透明で厳しい状況で推移するものと見込まれます。

このような経済環境において当社グループでは、当期より新たな中期経営計画を策定し、事業基盤の強化・拡大、技術立社、企業体質の基盤強化を3つの基本方針に、今後とも持続的な成長を目指してまいります。

通期の見通しにつきましては、予想時より円高が進んでおりますが、当第2四半期累計期間の業績は計画の範囲内で推移しているものと判断し変更はありません。

## 【通期連結業績（平成29年3月期）の見通し】

(単位：百万円)

	平成29年3月期 (予想)	前期比	進捗率 (第2四半期)
売上高	106,000	△2.8%	47.6%
営業利益	15,500	△1.7%	48.3%
経常利益	17,500	△2.4%	44.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	10,200	△1.2%	46.6%

(通期予想は、現時点の入手可能な情報に基づき判断したものであり、経済情勢の変化、市場の動向、為替レートの変動などにより乖離する可能性があります。)

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成 28 年税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成 28 年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第 32 号 平成 28 年 6 月 17 日）を第 1 四半期連結会計期間に適用し、平成 28 年 4 月 1 日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第 2 四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第 26 号 平成 28 年 3 月 28 日）を第 1 四半期連結会計期間から適用しております。

(株式給付信託 (BBT))

当社は、平成 28 年 6 月 29 日開催の株主総会決議に基づき、平成 28 年 8 月 25 日より、取締役（社外取締役を除く。以下同じ。）に対する業績連動型株式報酬制度として「株式給付信託 (BBT)」（以下、「本制度」という。）を導入しております。

① 取引の概要

本制度の導入に際し、「株式給付規程」を新たに制定しております。当社は制定した株式給付規程に基づき、将来給付する株式を予め取得するために、信託銀行に金銭を信託し、信託銀行はその信託された金銭により当社株式を取得しました。（以下、「本信託」という。）

本制度は、株式給付規程に基づき、取締役にポイントを付与し、そのポイントに応じて、取締役に株式を給付する仕組みです。

② 会計処理

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第 30 号 平成 27 年 3 月 26 日）を適用し、本制度に関する会計処理としては、信託の資産及び負債を企業の資産及び負債として貸借対照表に計上する総額法を適用しております。当第 2 四半期連結会計期間末に本信託が保有する自己株式は、純資産の部に自己株式として表示しており、計上額は 239 百万円、株式数は 196,300 株です。

③ 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	44,937	43,878
受取手形及び売掛金	32,822	31,608
有価証券	3,334	2,850
商品及び製品	2,310	2,249
仕掛品	2,522	4,080
原材料及び貯蔵品	4,438	4,001
その他	3,847	3,683
貸倒引当金	△158	△143
流動資産合計	94,053	92,207
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,491	16,391
土地	14,994	14,688
その他(純額)	22,179	21,628
有形固定資産合計	54,665	52,708
無形固定資産	1,413	1,158
投資その他の資産		
投資有価証券	26,703	28,282
その他	12,638	10,207
貸倒引当金	△98	△98
投資その他の資産合計	39,244	38,391
固定資産合計	95,323	92,259
資産合計	189,377	184,466
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,369	15,601
1年内返済予定の長期借入金	752	708
未払法人税等	2,416	1,783
賞与引当金	2,421	2,397
その他	12,206	10,720
流動負債合計	33,166	31,210
固定負債		
長期借入金	2,998	2,383
退職給付に係る負債	9,969	10,048
その他	5,352	4,833
固定負債合計	18,320	17,265
負債合計	51,487	48,475



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,560	4,560
資本剰余金	3,912	4,070
利益剰余金	102,377	105,994
自己株式	△3,629	△3,763
株主資本合計	107,220	110,861
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,208	6,983
繰延ヘッジ損益	2	1
為替換算調整勘定	2,127	△2,583
退職給付に係る調整累計額	△76	△72
その他の包括利益累計額合計	9,262	4,329
非支配株主持分	21,406	20,800
純資産合計	137,890	135,991
負債純資産合計	189,377	184,466

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	51,852	50,498
売上原価	32,567	31,019
売上総利益	19,284	19,478
販売費及び一般管理費	11,987	11,993
営業利益	7,297	7,485
営業外収益		
受取利息	131	114
受取配当金	345	308
受取賃貸料	187	177
持分法による投資利益	412	436
その他	397	424
営業外収益合計	1,474	1,460
営業外費用		
支払利息	11	33
為替差損	80	1,071
その他	147	106
営業外費用合計	238	1,211
経常利益	8,532	7,734
特別利益		
固定資産売却益	53	3
投資有価証券売却益	9	-
特別利益合計	63	3
特別損失		
固定資産除却損	34	57
環境対策引当金繰入額	65	-
その他	2	7
特別損失合計	102	64
税金等調整前四半期純利益	8,493	7,672
法人税等	2,474	2,246
四半期純利益	6,019	5,425
非支配株主に帰属する四半期純利益	946	673
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,073	4,751

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	6,019	5,425
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,069	△212
繰延ヘッジ損益	21	—
為替換算調整勘定	△472	△5,562
退職給付に係る調整額	△1	4
持分法適用会社に対する持分相当額	78	△799
その他の包括利益合計	△2,444	△6,569
四半期包括利益	3,574	△1,143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,843	△181
非支配株主に係る四半期包括利益	730	△962

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	8,493	7,672
減価償却費	2,191	2,371
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3	△6
賞与引当金の増減額(△は減少)	△37	△18
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	48	131
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△28	△528
受取利息及び受取配当金	△477	△422
支払利息	11	33
為替差損益(△は益)	54	898
持分法による投資損益(△は益)	△412	△436
固定資産売却損益(△は益)	△52	△2
有形固定資産除却損	6	12
売上債権の増減額(△は増加)	△413	69
たな卸資産の増減額(△は増加)	△628	△1,778
前渡金の増減額(△は増加)	212	△178
仕入債務の増減額(△は減少)	△403	986
未払金の増減額(△は減少)	310	△774
前受金の増減額(△は減少)	2,191	1,244
未払消費税等の増減額(△は減少)	△29	△188
その他	171	130
小計	11,210	9,215
利息及び配当金の受取額	704	613
利息の支払額	△40	△36
法人税等の支払額	△2,693	△2,784
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,180	7,007
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,732	△3,224
定期預金の払戻による収入	3,522	6,913
有価証券の取得による支出	△350	△119
有価証券の売却及び償還による収入	—	500
投資有価証券の取得による支出	△905	△2,102
投資有価証券の売却及び償還による収入	18	274
有形固定資産の取得による支出	△4,671	△4,799
有形固定資産の売却による収入	194	7
貸付けによる支出	△0	△4
貸付金の回収による収入	30	21
その他	△325	△61
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,218	△2,594

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	14	—
長期借入れによる収入	200	1
長期借入金の返済による支出	△185	△264
非支配株主からの払込みによる収入	—	507
自己株式の取得による支出	△0	△240
自己株式の売却による収入	—	239
配当金の支払額	△946	△1,134
非支配株主への配当金の支払額	△110	△113
その他	△114	△121
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,143	△1,126
現金及び現金同等物に係る換算差額	△151	△2,179
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,667	1,108
現金及び現金同等物の期首残高	32,160	38,519
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,827	39,627

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	21,887	9,492	18,889	50,269	1,582	51,852	—	51,852
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	511	99	11	622	552	1,174	△1,174	—
計	22,398	9,592	18,900	50,891	2,135	53,026	△1,174	51,852
セグメント利益	4,175	275	3,313	7,763	126	7,890	△592	7,297

- (注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、運送事業、太陽光発電事業などを含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△592百万円には、セグメント間取引消去180百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△773百万円が含まれております。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	21,275	7,828	19,407	48,511	1,986	50,498	—	50,498
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	613	427	14	1,055	541	1,597	△1,597	—
計	21,888	8,256	19,422	49,567	2,528	52,095	△1,597	50,498
セグメント利益	4,443	260	3,279	7,983	136	8,119	△634	7,485

- (注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、運送事業、太陽光発電事業などを含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△634百万円には、セグメント間取引消去166百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△800百万円が含まれております。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

(1) 四半期毎の業績の推移(連結)

平成29年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	28年4月～28年6月	28年7月～28年9月	28年10月～28年12月	29年1月～29年3月	28年4月～29年3月
売上高	24,714	25,784			50,498
売上総利益	9,603	9,874			19,478
営業利益	3,794	3,691			7,485
経常利益	3,868	3,865			7,734
税金等調整前当期純利益	3,844	3,828			7,672
親会社株主に帰属する当期純利益	2,327	2,424			4,751
総資産	183,478	184,466			—
純資産	136,265	135,991			—

平成28年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	27年4月～27年6月	27年7月～27年9月	27年10月～27年12月	28年1月～28年3月	27年4月～28年3月
売上高	24,045	27,806	25,703	31,508	109,063
売上総利益	9,163	10,121	10,190	10,960	40,436
営業利益	3,252	4,044	4,174	4,294	15,766
経常利益	3,795	4,736	4,617	4,771	17,921
税金等調整前当期純利益	3,719	4,774	4,674	4,732	17,900
親会社株主に帰属する当期純利益	2,192	2,880	3,071	2,176	10,320
総資産	189,568	190,325	193,078	189,377	—
純資産	138,128	138,640	139,251	137,890	—

平成27年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	26年4月～26年6月	26年7月～26年9月	26年10月～26年12月	27年1月～27年3月	26年4月～27年3月
売上高	23,193	24,752	23,502	31,065	102,514
売上総利益	9,143	9,239	9,191	10,160	37,735
営業利益	3,722	3,652	3,455	4,019	14,850
経常利益	4,222	4,190	4,366	4,673	17,453
税金等調整前当期純利益	4,106	4,186	4,441	4,754	17,488
親会社株主に帰属する当期純利益	2,398	2,492	2,745	2,338	9,975
総資産	163,294	171,390	181,367	187,116	—
純資産	118,680	121,565	128,368	136,123	—



## (2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

報告セグメント		売上高				セグメント利益又は損失(△)			
		前第2四 半期連結 累計期間	当第2四 半期連結 累計期間	増減額	増減率	前第2四 半期連結 累計期間	当第2四 半期連結 累計期間	増減額	増減率
薬品 事業	日本	12,967	13,421	454	3.5%	2,272	2,609	336	14.8%
	アジア	8,451	7,431	△ 1,019	△12.1%	1,636	1,580	△ 55	△3.4%
	欧米	469	422	△ 46	△10.0%	122	120	△ 1	△1.4%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	511	613	102	20.0%	143	132	△ 11	△7.9%
	計	22,398	21,888	△ 510	△2.3%	4,175	4,443	268	6.4%
装置 事業	日本	6,268	5,338	△ 930	△14.8%	178	281	102	57.3%
	アジア	3,222	2,416	△ 805	△25.0%	30	△ 42	△ 73	△242.2%
	欧米	1	73	71	—	△ 3	3	6	187.7%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	99	427	327	329.1%	69	18	△ 51	△73.2%
	計	9,592	8,256	△ 1,336	△13.9%	275	260	△ 14	△5.4%
加工 事業	日本	10,919	11,392	473	4.3%	2,051	2,030	△ 20	△1.0%
	アジア	5,053	5,012	△ 40	△0.8%	779	892	113	14.6%
	欧米	2,917	3,002	85	2.9%	403	267	△ 135	△33.7%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	11	14	3	28.7%	79	89	9	11.4%
	計	18,900	19,422	521	2.8%	3,313	3,279	△ 33	△1.0%
報告セグメント計		50,891	49,567	△ 1,324	△2.6%	7,763	7,983	219	2.8%
その 他	日本	1,518	1,902	384	25.3%	90	142	52	58.4%
	アジア	64	83	19	30.5%	36	△ 6	△ 42	△116.9%
	欧米	—	—	—	—	—	—	—	—
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	552	541	△ 10	△1.9%	0	0	0	—
	計	2,135	2,528	393	18.4%	126	136	9	7.8%
合計		53,026	52,095	△ 931	△1.8%	7,890	8,119	229	2.9%
調整額		△ 1,174	△ 1,597	△ 422	△36.0%	△ 592	△ 634	△ 41	△7.0%
連結損益計算書計上額		51,852	50,498	△ 1,353	△2.6%	7,297	7,485	188	2.6%

## 所在地別セグメント情報

(単位：百万円)

所在地	売上高				営業利益			
	前第2四 半期連結 累計期間	当第2四 半期連結 累計期間	増減額	増減率	前第2四 半期連結 累計期間	当第2四 半期連結 累計期間	増減額	増減率
日本	33,563	34,202	639	1.9%	4,727	5,179	452	9.6%
アジア	16,856	15,012	△ 1,843	△10.9%	2,356	2,325	△ 30	△1.3%
欧米	3,388	3,499	111	3.3%	522	388	△ 133	△25.6%
合計	53,807	52,714	△ 1,093	△2.0%	7,605	7,893	287	3.8%
調整額	△ 1,955	△ 2,216	△ 260	△13.3%	△ 308	△ 408	△ 99	△32.3%
連結損益計算書計上額	51,852	50,498	△ 1,353	△2.6%	7,297	7,485	188	2.6%

## (3) 四半期毎の業績の推移 (提出会社個別)

平成29年3月期 (提出会社個別)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	28年4月～28年6月	28年7月～28年9月	28年10月～28年12月	29年1月～29年3月	28年4月～29年3月
売上高	9,966	10,732			20,699
売上総利益	3,972	4,080			8,053
営業利益	1,283	1,232			2,515
経常利益	1,968	1,793			3,762
税金等調整前当期純利益	1,945	1,758			3,704
当期純利益	1,459	1,318			2,778
総資産	93,498	97,280			—
純資産	68,849	71,302			—

平成28年3月期 (提出会社個別)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	27年4月～27年6月	27年7月～27年9月	27年10月～27年12月	28年1月～28年3月	27年4月～28年3月
売上高	9,891	11,202	10,524	10,978	42,596
売上総利益	3,746	3,946	4,155	3,919	15,768
営業利益	1,068	1,246	1,458	1,028	4,802
経常利益	2,133	1,800	1,769	3,061	8,764
税金等調整前当期純利益	2,054	1,792	1,823	3,036	8,707
当期純利益	1,489	1,299	1,322	2,203	6,315
総資産	96,291	94,720	98,834	96,133	—
純資産	69,808	68,667	70,371	69,902	—

平成27年3月期 (提出会社個別)

(単位:百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	26年4月～26年6月	26年7月～26年9月	26年10月～26年12月	27年1月～27年3月	26年4月～27年3月
売上高	9,918	10,688	10,528	10,227	41,362
売上総利益	3,911	3,856	3,952	3,819	15,540
営業利益	1,323	1,200	1,296	1,124	4,945
経常利益	2,207	1,820	1,625	2,396	8,050
税金等調整前当期純利益	2,201	1,815	1,619	2,434	8,071
当期純利益	1,541	1,270	1,133	1,509	5,455
総資産	86,557	91,158	93,294	95,955	—
純資産	62,211	63,972	65,662	68,632	—